

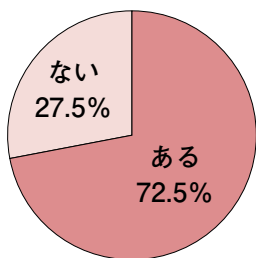


あなたは病気にかかった時、決まって診てもらっているお医者さんがいますか？

日ごろからあなたと家族の健康について気軽に相談ができる身近な医師のことを「かかりつけ医」と言います。「かかりつけ医」は、普段の皆さんの健康状態を把握しているのです、もしもの時にも安心して診療を受けることができます。また、病気を早期に発見し、予防や健康管理、生活改善についての相談・アドバイスも受けることができます。今号では、「かかりつけ医」について実施したアンケート結果をお知らせします。

もしも…に備えて「かかりつけ医」を持ちましよう

Q1 あなたには、かかりつけ医がいますか？



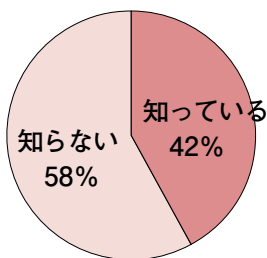
かかりつけ医が「ある」と回答した人が72.5%と多く、そのうち85.8%の方が市内にある診療所、医院などにかかりつけ医としていました。

年齢構成別にみても、20歳未満や60歳以上の方では、80%以上にかかりつけ医がいました。

20～50歳代の方でかかりつけ医が「ある」と答えた方は60～70%であり、働き盛りで病気になることが少ない世代では、かかりつけ医のある方が少ないようでした。

かかりつけ医の有無別で休日夜間の病院のかかり方をみると、かかりつけ医をもっていない人のほうが救急医療機関へ行く割合が多くなっています。

Q2 救急医療情報センターや小児救急電話を知っていますか？



救急医療情報センターや小児救急電話相談は県が行っていますが、半数以上の方が「知らない」と答えていました。さらに、知っているでも利用したことがない方が80%近くおり、その理由としては「電話番号などがわからない」という意見がありました。

健康推進課
☎67♦1151